

平成 29 年度～平成 33 年度 社会福祉法人岩手県視覚障害者福祉協会 社会福祉充実計画
(変更後の社会福祉充実計画)

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人 岩手県視覚障害者福祉協会		法人番号	7400005000411				
法人代表者氏名	理事長 及川清隆							
法人の主たる所在地	〒020-0015 岩手県盛岡市本町通三丁目 6 番 20 号							
連絡先	TEL019-652-7787							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	—							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成29年6月19日、社会福祉充実残額変更に伴う意見聴取:平成29年9月6日							
評議員会の承認年月日	平成29年6月25日、平成29年10月22日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位:千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (平成31年度末現在)	4か年度目 (平成32年度末現在)	5か年度目 (平成33年度末現在)	合計	社会福祉 充実事業 未充当額
	11,430 千円	6,998 千円	4,712 千円	2,648 千円	1,184 千円	0 千円		0千円
うち社会福祉充実事業費(単位:千円)		▲4,432 千円	▲2,286 千円	▲2,064 千円	▲1,464 千円	▲1,184 千円	▲11,430 千円	
本計画の対象期間	平成29年8月15日～平成34年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	同行援護等サービス充実強化事業	社会福祉事業	新規	・利用者支援の充実を図るため職員体制の強化を図る。 ・利用者ニーズに対応した同行援護の事業所化等の調査・推進を行う。	無	746 千円
	会館・事業所改修事業	社会福祉事業	既存	・会館・事業所の備品等の更新並びに玄関自動ドアを改修し、利用者の支援環境、快適利用を推進する。	有	3,686 千円
	小計					

2か年度目	同行援護等サービス充実強化事業	社会福祉事業	新規	・利用者支援の充実を図るため職員体制の強化を図る。 ・利用者ニーズに対応した同行援護の事業所化の推進を図る。	無	2,286 千円
	小計					2,286 千円
3か年度目	同行援護等サービス充実強化事業	社会福祉事業	新規	・利用者支援の充実を図るため職員体制の強化を図る。 ・利用者ニーズに対応した同行援護の事業所化の推進を図る。	無	2,064 千円
	小計					2,064 千円
4か年度目	同行援護等サービス充実強化事業	社会福祉事業	新規	・利用者支援の充実を図るため職員体制の強化を図る。 ・利用者ニーズに対応した同行援護の事業所化の推進を図る。	無	1,464 千円
	小計					1,464 千円
5か年度目	同行援護等サービス充実強化事業	社会福祉事業	新規	・利用者支援の充実を図るため職員体制の強化を図る。 ・利用者ニーズに対応した同行援護の事業所化の推進を図る。	無	1,184 千円
	小計					1,184 千円
合計						11,430 千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業(小規模事業)	・利用者の重度化及び健康状態等に対応した個別支援の強化を図る必要があるため、有資格者を増員し、職員体制の強化を図る。 ・利用者の同行援護のニーズ等に対応した事業の充実を図る。 ・会館・事業所の備品等の更新並びに玄関自動ドアを改修し、利用者の支援環境、快適利用を推進する。
② 地域公益事業	①の取組を実施する結果、残額は生じないため、実施しない。

③ ①及び②以外の公益事業	①の取組を実施する結果、残額は生じないため、実施しない。
---------------	------------------------------

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
同行援護等 サービス充 実強化事業	計画の実施期間にお ける事業費合計	746 千円	2,286 千円	2,064 千円	1,464 千円	1,184 千円	7,744 千円	
	財源構成	社会福祉充実残 額	746 千円	2,286 千円	2,064 千円	1,464 千円	1,184 千円	7,744 千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
会館・事業所 改修事業	計画の実施期間にお ける事業費合計	3,686 千円	—	—	—	—	3,686 千円	
	財源構成	社会福祉充実残 額	3,686 千円	—	—	—	—	3,686 千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	同行援護等サービス充実強化事業
主な対象者	障害者就労支援B型事業所利用者12名、移動支援事業登録者46人、盛岡市の視覚障害者(1～2級)495人
想定される対象者数	同上
事業の実施地域	盛岡市、滝沢市、矢巾町、雫石町 など
事業の実施時期	平成29年8月15日～平成34年3月31日
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 就労継続支援B型事業所「岩手マッサージセンター」職員の増員 利用者の高齢化や健康状態へのきめ細やかな配慮や変則勤務体制による職員の処遇改善を図るため、週2～3日の日々雇用職員を採用する。 利用者ニーズに対応した同行援護の事業所化を図る 現在、移動支援事業を行っているが、視覚障害者の外出時の支援の充実、強化する必要がある

	あり、同行援護事業所化を図る。 そのため、先進地から学び、検討委員会を設置するなどにより、来年度から同行援護事業所指定を受けて、安定した運営が図れるようサービス提供責任者の人件費補助や従事者養成に取り組む。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	1 就労継続支援B型事業所「岩手マッサージセンター」職員の採用 2 同行援護事業等調査検討(調査・検討、指定申請)
	2か年度目	1 継続(利用者への適切、効果的支援を推進) 2 継続(調査・検討、事業所指定による自立支援、従事者養成)
	3か年度目	1 継続(利用者への適切、効果的支援を推進) 2 継続(事業所指定による自立支援、従事者養成)
	4か年度目	1 継続(利用者への適切、効果的支援を推進) 2 継続(事業所指定による自立支援、従事者養成)
	5か年度目	1 継続(利用者への適切、効果的支援を推進) 2 継続(事業所指定による自立支援、従事者養成)
事業費積算 (概算)	1 就労継続支援B型事業所「岩手マッサージセンター」職員採用に係る経費 ・ 日々雇用職員 月額 72 千円 ⇒ 平成 29 年度(6 か月) 年額 432 千円 平成 30～33 年度(4年間) 年額 864 千円×4 年 計 3,888 千円 2 同行援護事業化調査推進事業 ・ 先進地研究費(平成 29 年度:旅費(千葉市、横浜市)) 92 千円 ・ 検討会開催費(平成 29 年度:講師旅費・会議費・謝金) ⇒ 平成 29～30 年度 222 千円×2年 444 千円 ・ 自立化支援費 ⇒ 平成 30～31 年度 1,200 千円×2年 2,400 千円 平成 32 年度 600 千円 平成 33 年度 320 千円 計 3,856 千円 合計 7,744 千円	
	合計	7,744 千円(うち社会福祉充実残額充当額 7,744 千円)
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

事業名	会館・事業所改修事業
主な対象者	障害者就労支援B型事業所利用者 12名 同事業によるサービス利用者 6,030名
想定される対象者数	同上
事業の実施地域	盛岡市、滝沢市、矢巾町、雫石町 など

事業の実施時期	平成 29 年8月 15 日～平成 30 年 3 月 31 日	
事業内容	○ 会館・事業所の備品等の更新並びに玄関自動ドアを改修し、利用者の支援環境、快適利用を推進する。	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	利用者の支援環境、快適利用を推進するため、会館・事業所の備品等の更新時期や改修が必要な箇所等を点検して、初年度において優先して更新及び改修を行う。内容は下記事業費積算のとおりとする。
	2 か年度目	—
	3 か年度目	—
	4 か年度目	—
	5 か年度目	—
事業費積算 (概算)	・点字プリンターの更新(@1,452,600円≒)	1,453千円
	・点字ディスプレイソフト(@178,000)	178千円
	・会館玄関自動ドア改修工事(@630,000円×1.08≒)	681千円
	・2F非常照明設置 (50,000円×1.08≒)	54千円
	・研修室用机(10台)・椅子(30台)更新 (1,093,392円≒)	1,094千円
	・丸椅子(@6,700円×2台×1.08≒)	15千円
	・物置更新(79,920円≒)	80千円
	・ゴミ廃棄(3回分)(130,345円(税込)≒)	131千円
	合計	3,686 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 3,686 千円)
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

—
